

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「俺の妹は忍者なんだが13歳」

テーマ：「忍者なのに、ブラコンな美少女」

キャラクター

40

ストーリー

35

テーマ(設定)

50

文章力

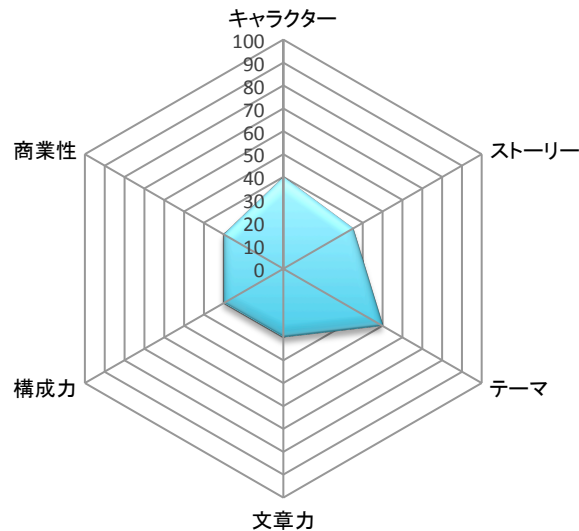
30

構成力

30

商業性

30



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・設定は非常に面白く、忍者というテーマにもオリジナリティがあるためその点については好評価。
 ・今作の一番の問題として、登場人物があまりに多く、かつ分かり易い一本のストーリーが確立されていない点にあげられる。まるで事前にプロットを立てず、思いついた内容をその場その場で書いていったのだろうかという印象さえ感じてしまう。
 ・また描写の情報量が非常に少なく、読んでいて置いてきぼりを食らってしまいやすい文章になってしまっている。恐らくこうなった原因として、50枚という制限の中にストーリーを詰め込み過ぎたことが理由として考えられる。そういった意味でも、やはり起承転結がはっきりとした一本のストーリーを書いて欲しかったと感じる。
 ・誰にも受け入れられる作品ではないが、好きな人は徹底的に好きになれる作品テイストになっている。吉祥蓮・鳩摩羅衆等、確固とした世界観をもって作品がかかれいる為、このような重厚な作品は長編において威力を発揮するのではないかとと思われる。今回は短編での投稿であつたため相性が悪かったと思われるが、この重厚な世界観は長編の執筆にむいているため是非チャレンジしてほしいと感じる。

合計加点ポイント 0

総得点: 215 / 600

B方式総合得点: 7704 点